



シーボルト旧蔵
日本植物図譜コレクション（ファクシミリ版）

Florilegium plantarum Japonicarum sieboldi

川原慶賀原画

CONTENTS

●敵か？味方か？ クマを知る	2 頁
●図書館長からのメッセージ	4 頁
●横浜図書館 前期（4月－9月）展示報告	5 頁
●視聴覚資料の紹介 「映画で観る芸術家の人生」	6 頁
●図書館の所蔵資料紹介	
J.M.W.ターナー《研鑽の書》（オートタイプ複製版）	7 頁
●図書館からのお知らせ 今号の表紙 / 編集後記	8 頁



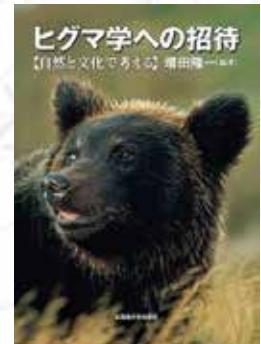
敵か？味方か？ クマを知る

敵か？味方か？という問い合わせ正しいかどうかわかりませんが、このところ連日のようにその目撃が伝えられている「熊」は、古くから人間社会との関わりが深い動物です。おとぎ話、神話、物語に登場し、可愛いキャラクターとしても愛されている動物ですが、その一方、私たちはこの動物について多くを知ってはいないようです。クマを知るための本を紹介いたします。

ヒグマ学への招待：自然と文化で考える / 増田隆一編著

札幌：北海道大学出版会, 2020 請求記号：D489-13（横浜）

日本でヒグマが生息するのは北海道のみだと言われる。その生態だけでなく、ヒグマと人間社会との関わりや「木彫り熊」の歴史などもわかる本。



クマが樹に登ると：クマからはじまる森のつながり / 小池伸介著

秦野：東海大学出版会, 2013 請求記号：B489-218（横浜）

クマの食性から植物の「種子散布者」としての生態を調査したフィールドワークの記録。基本的に植物食であるクマにとって、果実類の不作はその行動に大きく影響するらしい。

熊と向き合う / 栗栖浩司著 -- 東京：創林社, 2001 請求記号：B345-83（横浜）

2001年に刊行されているが、現在我々が直面している「クマ問題」に関して詳しく書かれた本。一筋縄ではいかないクマ問題について考えさせられる本。



熊の歴史 <百獣の王>にみる西洋精神史 / ミシェル・パストゥロー著；平野 隆文訳 -- 東京：筑摩書房, 2014 請求記号：B230-65（横浜）

クマの力強さはヨーロッパの古代や中世において王や権力と結びつけられていた。かつては百獣の王だったクマのイメージはどのような変遷をたどったのか。象徴に関する数々の歴史書を刊行する歴史学者の著作。

イヨマンテ：上川地方の熊送りの記録

東京：小学館, 1985

請求記号：B386-33（横浜）

昭和60年に行われた、アイヌ民族の熊送りの儀式「イヨマンテ」の記録である。一連の伝統的儀式がカラー写真とともに掲載されている。



ホッキョクグマ：生態と行動の完全ガイド / アンドリュー・E.デロシェール著；ワイン・リンチ写真；



**坪田敏男, 山中淳史監訳；中下留美子, 中島亜美, カイル・ティラー訳
東京：東京大学出版会, 2014**

請求記号：B489-233（横浜）

ジャイアントパンダ：中国の自然に生きる /

周孟祺撮影；岩谷貴久子翻訳

東京：科学出版社東京, 2015

請求記号：B489-241（横浜）



真っ白なホッキョクグマの親子。保護区で暮らすパンダの親子。

愛らしいクマの姿を豊富な写真で楽しめる本。

熊を殺すと雨が降る：FIELD NOTE 山の民俗学 / 遠藤ケイ著 -- 東京：山と渓谷社, 2002

請求記号：D384-301（みなとみらい）

旧書名『山に暮らす』（横浜図書館所蔵）。タイトルは「熊を殺すと山の天気が悪くなる」というマタギの間の言い伝えによるもの。著者によるイラストとともに、森林の伐採や木挽き、狩猟で暮らす山の人々の仕事と知恵が書かれている。

**ウィニーの物語：世界で一番有名なクマ / ヴァル・シュシケヴィッチ著；
小林博子訳 -- 東京：文芸社, 2007**

請求記号：D489-26（みなとみらい）



「くまのプーさん」のモデルになったクマの物語。第一次大戦中にカナダ軍の獸医に飼われたクマ「ウィニー」がロンドン動物園で『くまのプーさん』の作者A.A.ミルンの息子に出会ったことで大人気のキャラクターは生まれた。

こうしてイギリスから熊がいなくなりました / ミック・ジャクソン著；田内志文訳

東京：東京創元社, 2018

請求記号：D933.7-2279（横浜）



短編集『10の奇妙な話』の作者による、クマをテーマにした8つの物語。かつてイギリスの様々な場所で暮らしていたクマを消滅させたのはイギリス人なのである、というお話。人間社会に生き、幻滅して去っていくクマたちの幻想的でユーモアに満ちた魅力的な作品集。

クマに限らず、古くから人間は様々な動物と深い関わりを持ってきました。その物語や記録は多くの書物に残されています。図書館には、他にもたくさんの「クマ」やその他の動物に関する本を所蔵しています。是非ご利用ください。

図書館長からのメッセージ

『自由を探す図書館』 神奈川大学図書館長 大橋 哲

昨今の情報化社会の急速な進展は、図書館を取り巻く環境にも大きく影響し、環境変化への迅速な対応が求められていることは、本学図書館に於いても同様である。館内に新たに設置されたラーニングHiveなどの共有空間に集い語り合う学生たちの姿を目にして感じた事を、以下に述べさせて頂く。



デジタル時代以前の伝統的な大学図書館のイメージは、幾列もの書架に書籍が整然と並ぶ知識の保管庫であり、利用者である研究者や学生は、自らの研究テーマに関する書籍を、時には司書の力を借りて探し出して、それを静寂の中で読み、調べるといったものではなかったか。書庫の独特な匂いや、少しうす暗い空間を懐かしく想う研究者は多いのではないか。一方、現在の学生の抱く図書館のイメージは、それとはかなり異なるものであろう。勿論、図書館は蔵書の保管、分類、閲覧といった基本的機能を今も維持しているので、伝統的な図書館のイメージと重なる部分は多いと思うが、デジタル時代に生を受けた学生は、レポート等の課題に関して、まずスマホを用いてインターネット上から入手した関連情報について意見交換するために友人と集う場所として図書館を利用することが増えており、図書館を級友との交流の場ととらえているように見える。

そして、蔵書に関しては、スマホで得た情報の証拠探しのような目的で利用されることが多いよう思う。仮に生成AIを用いてレポートを作成するならば、書籍を読んで情報収集を行い論理を構築するために要する膨大な時間を省き、一瞬にして秩序よく整理された「完成品」を入手できる。能動的に情報を求める論理を構築する作業なしに、自らの知識を大きく上回る情報に基づいた「答え」を最初に与えられるようなものであり、AIがその答えに至った道筋を辿るために図書館の書籍を利用する。AIの示す道を辿るだけでも知識は増えるので、学生はこのレポート作成のプロセスにそれほどの疑問を持つことはないかもしれない。

我々が日常的に直面する問題の中には、ある選択を行う際に各選択肢についてよく知らないことがある。この種の問題は、それぞれの選択肢について良く調べ自分なりの適切な選択をすることにより解決する。例えば選挙の投票行動において、候補者について調べるというような作業である。既に提示済みの道筋を辿る作業といえるが、選択肢について知らぬままやにくむに選ぶのとは違う知的な作業である。しかし、真に能動的な知的作業は、自ら新たなものと信ずる選択肢を提示することではないか。のちに、実はそれが既知の選択肢だと分かったとしても、そこには自らの考察に基づく選択の積み重ねが生まれ、自分の道が引かれることになる。学生のレポート作成の意味は、独自の能動的な知的作業に基づいた発見や論理構造の構築を体験することにある。

今後の大学図書館は、学生の能動的な知的活動を支援する場としての機能を様々な手段で強化していくべきである。AIの作る「完成品」を入手したうえで、学生が独自の道を引いていくことは容易ではない。しかし、学生が、独自の選択肢という「自由」に気づき、それを求めるならば、道標となる図書館蔵書に不变的な価値を見出すであろう。グループワークルーム、ラウンジ、ラーニングHiveなどの、他者との交流を意図してデザインされた空間は、AIに追随する同意形成の場ではなく、学生の自由な創造性を育てるための知的交流の場となることが期待される。

本学図書館が、知的自由を探し求める学生と、全力でそれを支援する司書や教員の交流の場としてイメージされる日が、近く来ることを願っている。

横浜図書館 前期（4月- 9月）展示報告

神奈川大学横浜図書館では2階展示ギャラリーにて、貴重資料を中心とした書籍の展示を行っています。今年度前期には「時を紡ぐ文字」「出島三学者と江戸の本草学」「図書館資料でみる昭和という時代」と題して3回の展示を行いました。展示した資料は終了後、地下書庫に配架されており手に取って閲覧できるものもあります。ぜひ一度ご覧ください。

4月展示「時を紡ぐ文字」

会期：2025年3月28日
- 5月31日

古代の文字、ヒエログリフやアラビア文字ヨーロッパで発展したギリシア文字やラテン文字の他、活版印刷術によって文字が印刷された最初の出版物であるグーテンベルク聖書（レプリカ）などを本学所蔵の資料で紹介しました。



6月展示「出島三学者と江戸の本草学」

会期：2025年6月7日- 8月6日



江戸時代、長崎の出島にオランダ商館の医師として来日し「出島三学者」と呼ばれたケンペル、ツンベルク、シーボルトや日本の本草学者の植物研究を紹介しました。

8月展示「図書館資料でみる昭和という時代」

会期：2025年8月18日- 9月30日

2025年は昭和元年からちょうど100年目にあたります。この時代の昭和30年代から50年代を中心に、当時を伝える所蔵資料を紹介しました。



後期も新たな展示を企画しています。
是非ご覧ください。

視聴覚資料紹介



映画で観る芸術家の人生

今年は映画「国宝」が大ヒットし、芸にその人生を捧げた主人公達の姿は多くの人々に感動を与えました。芸術家の人生を描いた映画には数々の名作があり、映像を通して作品を生み出す喜びやその苦悩などを伝えてくれます。図書館が所蔵する芸術家の人生を描いた映像作品を紹介いたします。



ターナー、光に愛を求めて /マイク・リー監督 2014年

イギリスを代表する画家、J.M.W.ターナーの人生を描く。ターナーを演じた俳優ティモシー・スポートは二年間絵の訓練をして役に挑んだという。

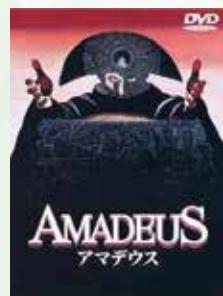
請求記号：F778-1320（横浜）



ポロック：2人だけのアトリエ /エド・ハリス監督 2000年

アクション・ペインティングという画法で知られる抽象表現主義の代表的な画家ポロックの生涯。監督兼主役のエド・ハリスが実際に作品を描いている。

請求記号：F778-1281（横浜）



アマデウス /ミロス・フォアマン監督 1984年

ブロードウェイの舞台の映画化。天才モーツアルトとその才能に嫉妬するサリエリの物語。全編にモーツアルトの曲が流れる。

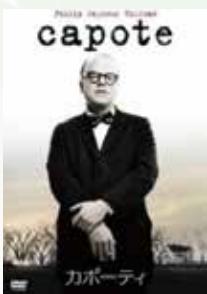
請求記号：F778-292（横浜）



フジコ・ヘミングの時間 /小松莊一良監督 2018年

60代になってから注目され、その演奏で多くの人を感動させたピアニスト。苦難に見舞われた人生と世界中で演奏する姿を追ったドキュメンタリー。

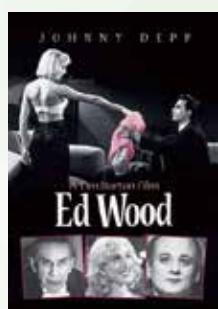
請求記号：F763.2-1（横浜）



カポーティ /ベネット・ミラー監督 2005年

作家トルーマン・カポーティが代表作『冷血』を書き上げるまでを描いた作品。主演はアメリカの名優フィリップ・シーモア・ホフマン。

請求記号：F778-993（横浜）



エド・ウッド /ティム・バートン監督 1994年

ジョニー・デップが「史上最低の映画監督」と言われたエド・ウッドの人生を演じる。映画とエド・ウッドへの愛が溢れる作品。

請求記号：F778-960（横浜）

図書館の所蔵資料紹介

J.M.W.ターナー 《研鑽の書》（オートタイプ複製版）

The liber studiorum of J. M. W. Turner, R.A. / Edited by, and each plate accompanied with a critical notice by the rev. Stopford Brooke. -- London : Autotype company, 1882-1884

請求記号：A723-1,2,3-92（横浜 貴重書庫）



J.M.W.ターナー (Joseph Mallord William Turner, 1775-1851) は日本でも人気の高いイギリス・ロマン主義の画家である。霧が立ち込める中、蒸気機関車が鉄道橋をこちらに走ってくるシーンを描いた《雨、蒸気、速度—グレート・ウェスタン鉄道》(1844年)でこの画家を知る人も多いだろう。

1775年、ターナーはロンドンの理髪師の息子に生まれ幼いころから画才を示し、27歳の若さで英国ロイヤル・アカデミーの正会員として認められるほどの才能を持った画家であった。イギリスを代表する風景画家として名を残し、約二万点を超えるその作品の多くは画家自身の遺言によって国家に寄贈され、現在ではティート・ギャラリーやナショナル・ギャラリーに保管されている。また、その生涯には謎も多いとされ、2014年制作の映画《ターナー、光に愛を求めて》では画家の人生が興味深く描かれている。

ターナーは若い頃から各地へスケッチ旅行に出かけ風景を描いた。英国の湖水地方へのスケッチ旅行には「ピクチャレスク」の提唱者として著名なウィリアム・ギルpinの紀行本を携えていったそうである。ピクチャレスクとは「絵のように美しい」といった意味を持ち、18世紀にイギリスの文化、芸術に多大な影響を与えた美的概念である。ギルpinは自然から絵画のような風景を切り取る「ピクチャレスクなまなざし」を審美眼や感性の訓練であるとした。ターナーは17世紀の画家クロード・ロランを尊敬し、ロランのような風景画を描きたいと願っており、当時、肖像画や歴史画に比べて下位に位置づけられていた風景画こそが自然の中にある美を捉えることができるのだと考えていたようである。スケッチ旅行で描かれた風景画は1807年から約12年かけて版画シリーズ《研鑽の書 "The liber studiorum"》と名付けられ出版された。作品には6つのジャンルをあらわす頭文字、E.P (Elevated Pastoral : 理想化された風景)、P (Pastoral : 牧歌的風景)、M (Marine : 海景)、A (Architectural : 建築的風景)、H (Historical : 歴史的主題を含む風景)、MS (Mountain : 山岳風景) が、それぞれ付けられ、全71点の版画が出版された。ジャンルを付け体系化することによって風景画を研究、理論的に学ぶことを意図とした版画集だと言われている。

本書はこの《研鑽の書》をオートタイプという写真印刷によって複製し、オリジナル版とは作品の順序が異なるが、解説も付けられている。ピクチャレスク美学を知るうえでも貴重な作品集である。

(図書館事務部図書課 荘原 直子)

映画《ターナー、光に愛を求めて》6頁で紹介しています。

図書館からのお知らせ

横浜・みなとみらい共通

■冬季長期貸出について

対象…学部生
貸出受付期間…2025年12月3日(水)～12月25日(木)
返却期限日…2026年1月13日(火)
冊数…10冊

■春季長期貸出について

対象…学部生(卒業年次生)
貸出受付期間…2026年1月20日(火)～3月7日(土)
返却期限日…2026年3月23日(月)
冊数…10冊
対象…学部生(在校生)
貸出受付期間…2026年1月20日(火)～3月25日(水)
返却期限日…2026年4月9日(木)
冊数…10冊

■年末年始の休館日について

2025年12月26日(金)～2026年1月6日(火)

■一般公開休止について

後期試験実施に伴い、以下の期間中の一般公開を休止いたします。
期間…2026年1月7日(水)～1月28日(水)

■盗難への注意

貴重品(財布、携帯等)は席を離れる時、必ず身につけてください。

■館内マナーを守りましょう

- ・飲食は禁止です。ただし蓋付の飲み物に限り水分補給ができます。
- ・飲み物は机の上に置かず、鞄にしまってください。
- ・喫煙禁止
- ・スマートフォン、携帯電話はマナーモードにして、通話はご遠慮ください。
- ・他の利用者の迷惑になる行為は慎んで、静かに利用してください。

■取り寄せ

他キャンパスの図書は、取り寄せて利用することができますので、OPACで所蔵館を確認して予約ボタンからお申込みください。



編集後記

世界に一冊しかない本、人類の宝といわれる貴重な本、というものがある。印刷技術の発明以前に人の手で書かれた写本は世界にたった一冊しか存在せず、博物館や教会の宝物庫などに大切に所蔵されている。学問の歴史に大きな影響を与えた書物や世界中で何度も繰り返し刊行された名作の初版本は刊行されてから数百年以上経っているものが多く、このような本は借りることはもちろん閲覧も難しい場合が多い。しかしそんな貴重な本を手に取ってみると可能にする方法がある。複製品である。

複製品といっても内容のみ複写した復刻版から色や質感はもちろん、頁の虫食い、汚れなども完全に再現した本物そっくりのレプリカまで色々とあるが、これらの良いところは比較的自由に利用できることで本学図書館でも本物をみることが難しい書物の復刻版やレプリカなどを多数所蔵している。

NHKの大河ドラマにも登場した『画本虫撰(えほんむしえらみ)』。今年6月に復刻版を横浜図書館で展示した。復刻とはいえばらしい和装本で歌麿はこんなに美しい絵を描いたのかと感動する。

毎年行っている高校生の職業体験では、世界で初めて活版印刷によって作られたグーテンベルク『聖書』のレプリカをみてもらう。姿形まで再現された書物が持つ存在感と重量に、みな驚いている。

現在では貴重な本でもネット上で画像が公開され読めることが多く、それで十分かもしれない。しかし驚きと感動の体験をもたらすのは、本物以外では本物を再現した複製品にしかできない事である。そして本学図書館では、それができるのである。

(N.E.)

今号の表紙

シーボルト旧蔵 日本書誌コレクション(ファクシミリ版)

Florilegium plantarum Japonicarum sieboldii

川原慶賀原画

シーボルトが1866年に亡くなった後、残された資料や植物標本、千点を超える植物原図などはロシアのアカデミーに売却され、現在もサンクトペテルブルクのコマロフ植物研究所に所蔵されている。表紙の絵はシーボルトの著作『日本植物誌』の挿絵の原画。長崎に出入りしていた絵師川原慶賀によるものである。

請求記号: A 470.3-4 (横浜地下書庫)